

研究分科会の目的

風車システム技術により、シーズ技術の社会実装、技術導入・技術・開発を支援し、洋上風力における県内企業のサプライチェーンへの参画を推進する。



座長	吉田 茂雄
所属	佐賀大学 海洋エネルギー研究所 教授・副所長
専門分野	風車工学
得意な分野 (企業様のご相談に乗れる内容)	<ul style="list-style-type: none">● 風車システム: 風力発電/風車全般に関する知見。● シーズ技術の評価・社会実装促進: 各社の持つシーズ技術・製品・サービスの風力発電の経済性に対する効果の評価、ならびに、メーカー・事業者への提案の支援。● 技術導入支援: 海外の先行技術の国内への導入の支援。● 共同研究の可能性: 常時複数の企業の風力発電関連の技術・製品開発に関する共同研究を実施中。

企業の皆様へのメッセージ

この分科会では、急速に拡大している洋上風力発電の分野で、風車システム技術を活用したサプライチェーン強化に取り組んでいます。各社の技術・製品開発に関する共同研究、各社の持つシーズ技術の評価や社会実装を支援できます。

連絡先: yoshidas@ioes.saga-u.ac.jp/0952-28-8807

洋上風力発電研究分科会の取組紹介

①背景・課題等

- 2040年までに30～45GWの目標達成に向けて、法制度・インフラの整備が進んでいる。
- 唐津沖でも、地元経済に対する貢献が重視される。
- その受け皿になる県内企業が少ないのが課題。

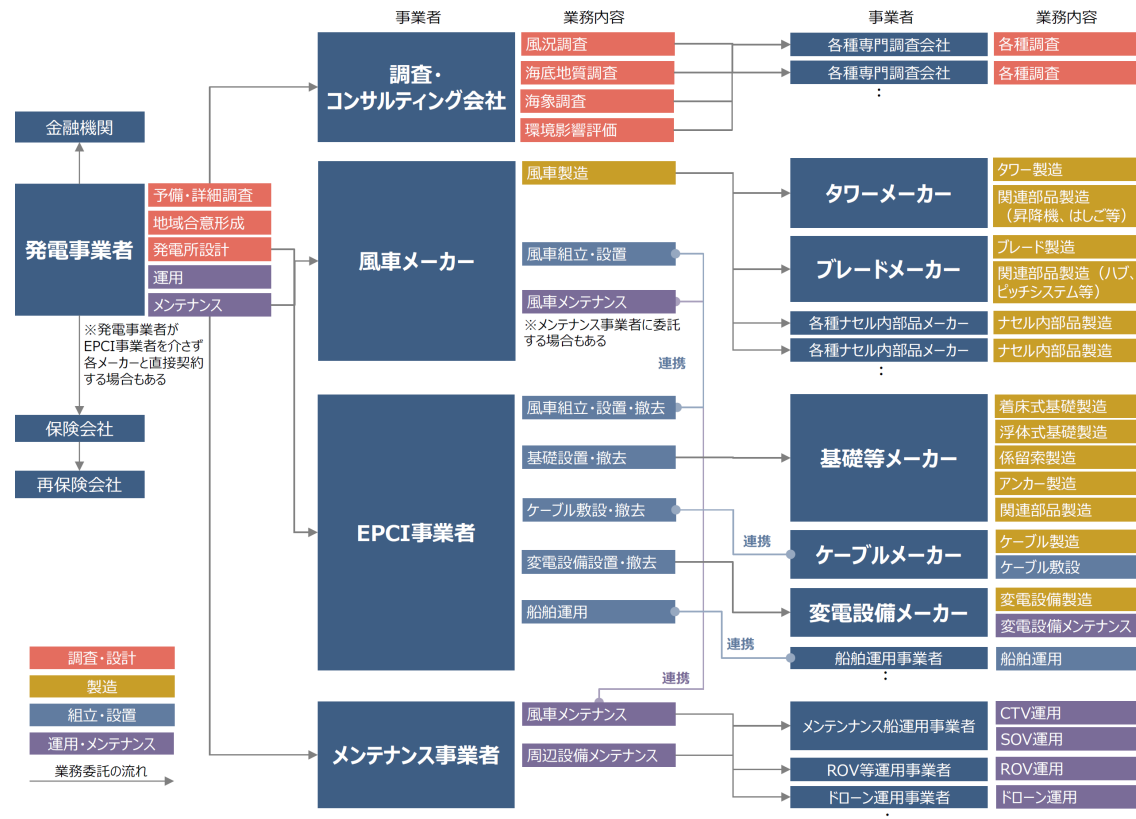
②研究開発内容等

- 風車システムエンジニアリング技術による、風力発電関連の技術・製品開発の支援。
- 同じく、各社の持つシーズ技術・製品・サービスの風力発電の経済性に対する効果の評価。
- 同じく、海外の先行技術の国内への導入の支援。

③期待される効果等

- 競争力の高い技術・製品の開発。
- 有効な技術の特定とメーカー・事業者へのプロモーション。

<洋上風力発電の事業構造> 日本風力発電協会, 洋上風力スキルガイド, 2022



洋上ウィンドファームの例
(台湾桃園市)

■研究経過等

R4-	調査、情報収集
R2-	見学会、講演会
R4-8	NEDOプロ
R4-5	委託研究
R6-	サプライチェーン発掘